https://okinawa-cellular.jp/

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless

沖縄セルラー

個人投資家さま向け説明会資料

STOCK CODE : 9436

1	沖縄セルラーとは
2	中期経営計画(22年度-24年度)
3	株主還元

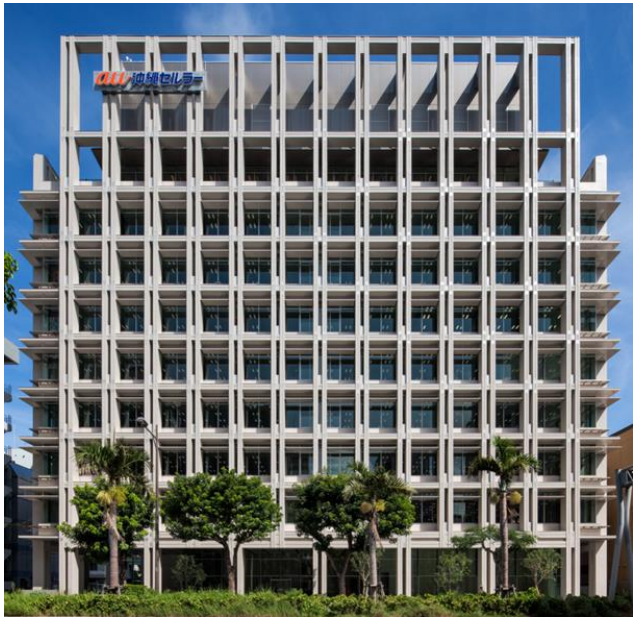
1	沖縄セルラーとは
2	中期経営計画(22年度-24年度)
3	株主還元

会社概要

商 号	沖縄セルラー電話株式会社
創 業	1991年6月1日
所在地	沖縄県那覇市松山1-2-1
主要株主*1	KDDI株式会社　51.1%
資本金	14億14百万円
従業員数*2	439人
証券コード	9436

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

代表取締役社長
菅（すが） 隆志（たかし）



*1　23年9月時点
*2　連結ベース。23年3月時点

沿革

■1991年6月

KDDI（旧第二電電）をはじめ**県内有力企業の出資**により誕生
翌年10月に携帯電話サービス開始

■2010年1月

OTNet（旧沖縄通信ネットワーク）を子会社化
FTTHサービスを3月提供開始
モバイルとFTTHを提供する県内唯一の**総合通信事業者**となる

■2019年11月

沖縄電力と業務提携し一般家庭向け電力供給事業の**「auでんき」**サービス提供開始

「沖縄のために」という声から生まれた
沖縄のための総合通信事業の会社

経営の理念

１．事業を通して、沖縄経済の発展に貢献すること。

１．公共性の高いことに鑑みて
県民から親しみと尊敬に値する企業になること。

１．社員の物心両面での幸福を追求すること。

１．沖縄県の名実ともにトップ企業になること。

沖縄セルラーサマリ

23年3月末時点

強固な財務基盤と高い収益性を両立

総資産額	1,196億円	発行済株式総数*2	49,222千株
純資産額	1,011億円	時価総額*3	1,688億円
自己資本比率	**82.6%**	PBR	1.81倍
営業収益	772億円	株価*3	3,430円
当期純利益*1	**108億円**	1株当たりの配当金*4	100円
EPS	**204円**	配当性向*4	**43.3%**
ROE	**11.1%**	配当利回り*3	**2.91%**

*1：親会社株主に帰属する当期純利益　*2：2023年9月末時点　*3：2023年12月11日終値ベース　*4：2024年3月期予想

株価の推移

2023年12月7日　新高値更新：3,465円

株価チャート（10年

出典：日本経済新聞　https://www.nikkei.com/nkd/company/?scode=9436

沖縄セルラーグループ体制図

Tomorrow, Together
KDDI

51.1%

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

77.5%

OTNet

通信事業

100%

沖縄セルラー
OKINAWA CELLULAR GROUP
アグリ&マルシェ

観光・アグリ事業

※ 2023年9月時点

沖縄セルラー　事業概要

主軸となる通信事業

モバイル

au

UQ mobile

povo

FTTH

au ひかり ちゅら

ひかりゆいまーる

成長領域

au でんき

ソリューション事業

沖縄セルラー OKINAWA CELLULAR GROUP アグリ&マルシェ

ヘルスケア

うちなーんちゅのための 健康サポートアプリ JOTO ホームドクター

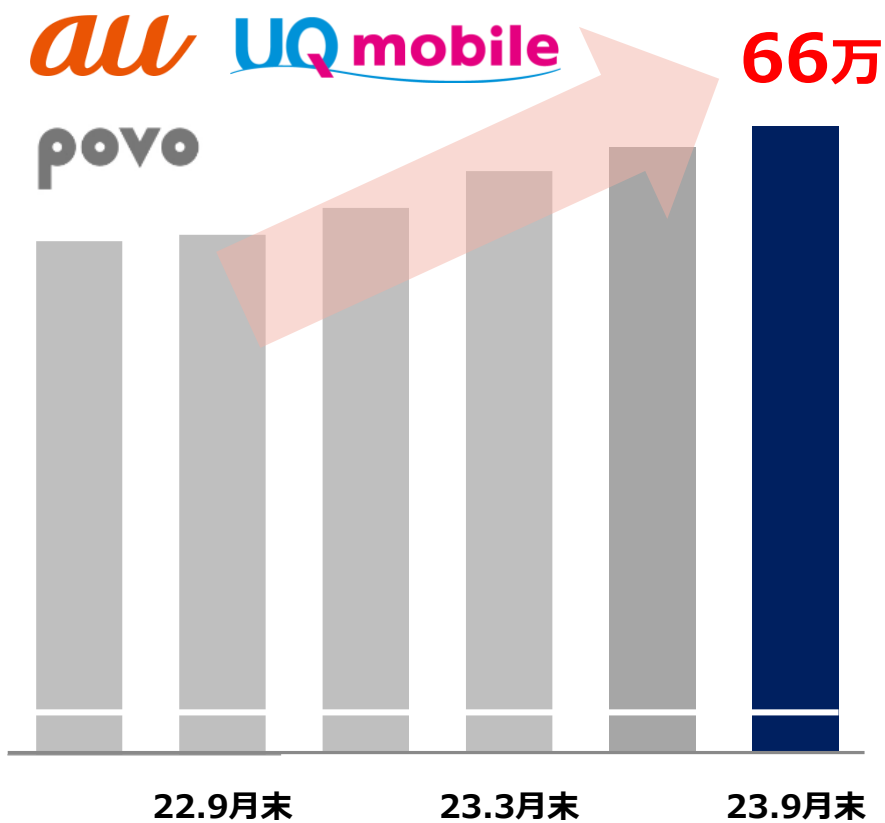
通信を軸に多彩なサービスを提供

モバイル

モバイル契約数

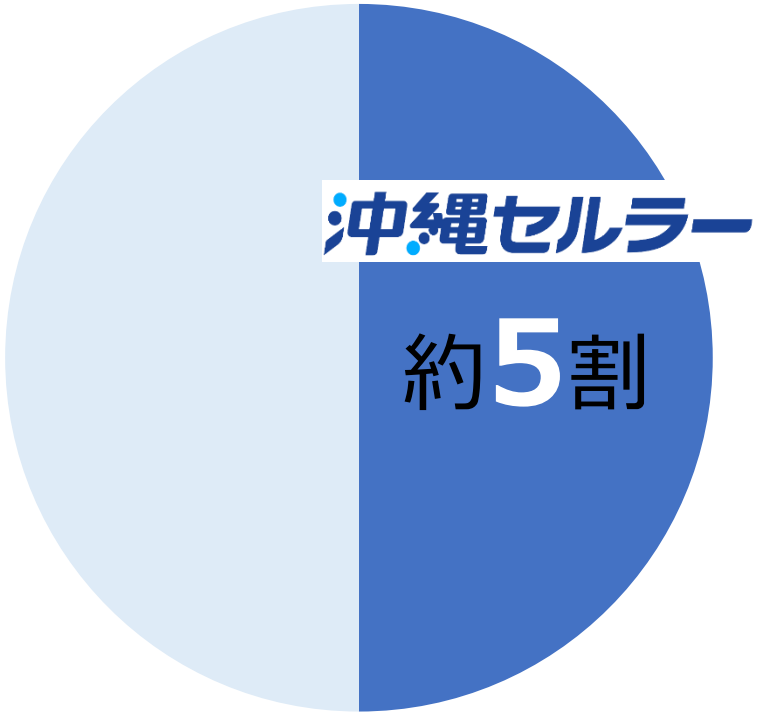
契約数は66万契約を突破し今期も順調に増加

契約数



※ハンドセット（スマートフォンとフィーチャーフォンの合計）

シェア



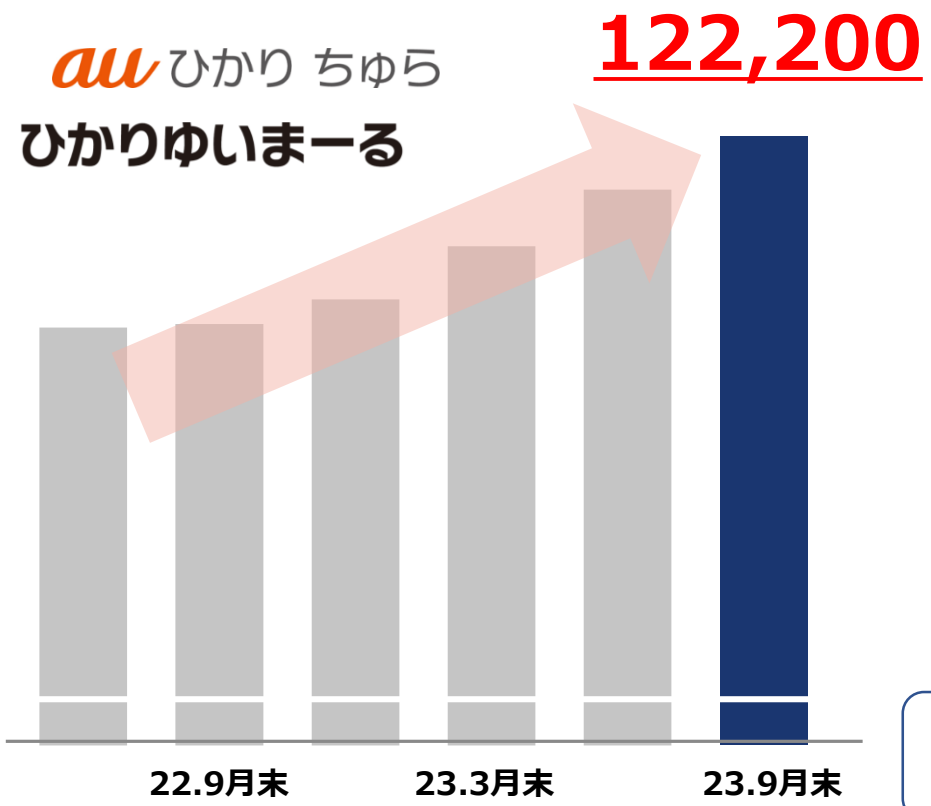
沖縄では2人に1人が沖縄セルラー

FTTH

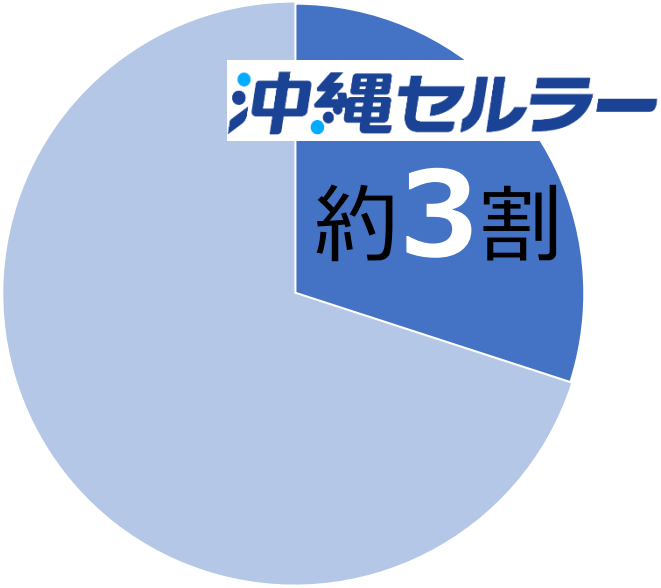
FTTH契約回線数

契約回線数は着実に増加しシェアも順調に拡大中

契約回線数



契約回線シェア



光インターネットサービス普及率

沖縄:57.9%　**全国:63.7%**

※2023年3月末時点

（補足）FTTH（Fiber To The Home）
＝光ファイバーケーブルを利用して各家庭に提供されている通信サービス

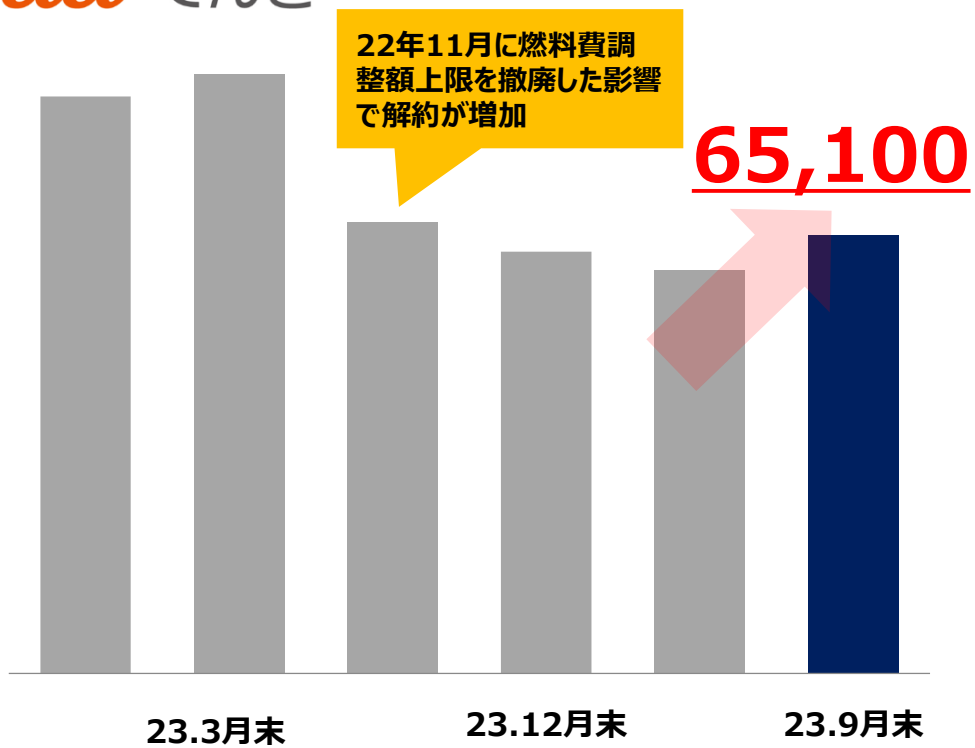
成長領域

auでんき

今期2Qから純増に転じ再拡大フェーズへ
通期予想を超えるペースで獲得し期初予想を大幅上方修正

総契約件数

auでんき



純増件数

期初予想

1,200契約

10,000契約
（+8,800）

成長領域

事業創造による沖縄の課題解決

デジタルの力で企業の経営課題や沖縄の社会課題の解決

ソリューション事業

DX支援・県内企業の課題解決

アグリ

スマート農業/植物工場

ヘルスケア

健康管理アプリ/オンライン診療

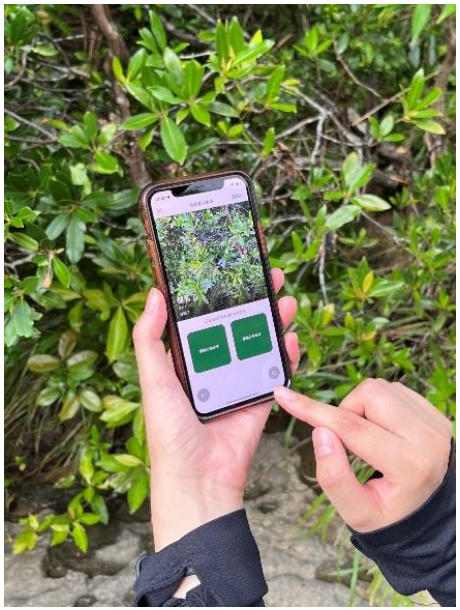
社会貢献

生物多様性への取り組み

国内初「Starlink Business」を活用した外来種調査により西表島の生物多様性保全に貢献

■浦内川河口から8km地点に設置

■基地局電波の届かない森の中で通信



スマホアプリ「Biome」搭載された最新の名前判定AIによりユーザーが撮影した画像から動植物の種類を判定

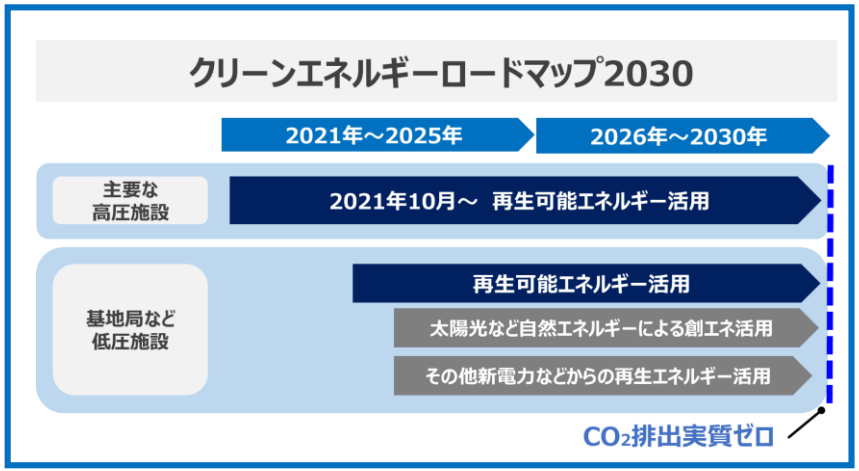
モバイルが不安定なエリアにおいて、インターネットアクセス回線を構築し、外来種の分布データを収集。世界自然遺産に登録されている西表島の環境保護や外来種対策に貢献します。

社会貢献

カーボンニュートラル実現への取り組み

太陽光発電を活用したサステナブル基地局の運用を開始

24時間365日
CO2排出量実質ゼロへ



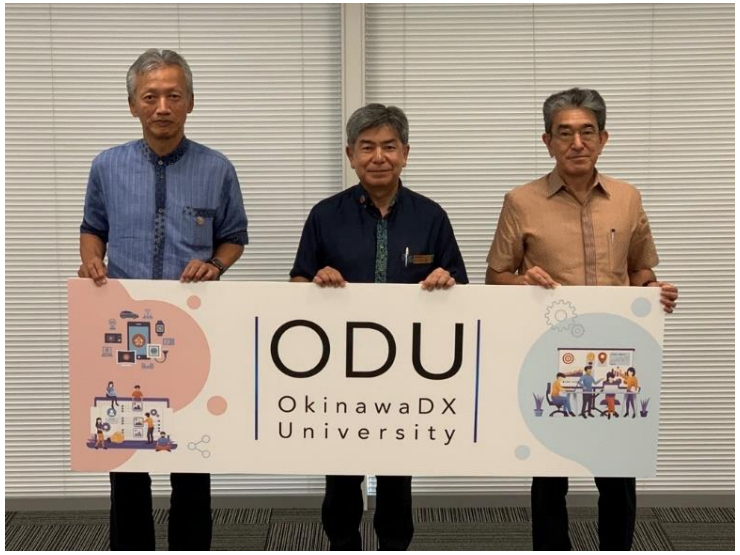
沖縄セルラーでは「2030年度までに自社のCO2排出を実質ゼロ」とするクリーンエネルギーロードマップを策定しております。今後もサステナブル基地局を拡大していきCO2排出実質ゼロを目指していきます

社会貢献

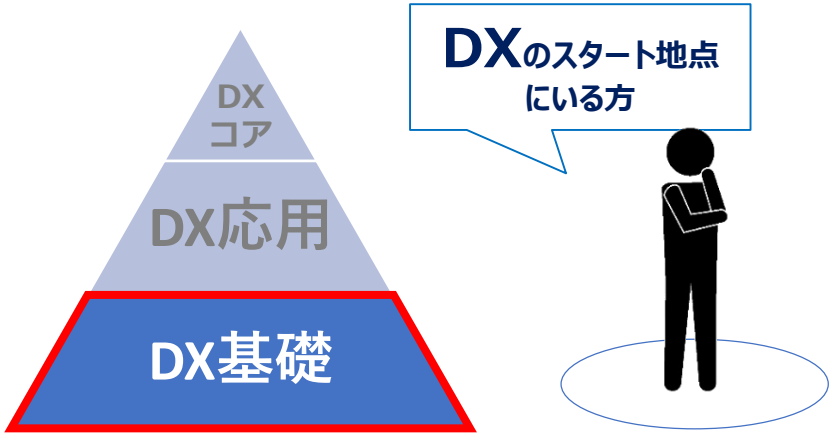
沖縄県のDXを推進

「Okinawa DX University」を創設
DX人材を育成し県経済の発展に貢献

■記者会見



■実施内容



100名に無料提供
（対象は企業及び自治体）

沖縄未来創造協議会※の協力を得て沖縄県民にオープンプログラムとして提供。
労働生産性が全国最下位である沖縄県の生産性向上を図ります。

※沖縄未来創造協議会：沖縄電力㈱、㈱リウボウホールディングス、㈱琉球銀行、㈱沖縄銀行、㈱沖縄海邦銀行、㈱みずほ銀行
当社の7社で構成。事業法人の企画立案力と金融機関の事業構築力を掛け合わせ、県経済の発展に向け政策を提言

社会貢献

沖縄県の子ども達への支援

沖縄の未来を担う子ども達を地元の通信会社として支援

■離島ケータイ奨学金

進学のため島を離れる学生に
携帯電話サービスを3年間無償提供
（2015年度より開始。延べ370名）

■子ども基金

子供の貧困問題解消に向け支援団体に
寄付を実施
（2016年度に子ども基金を設立）

経営方針

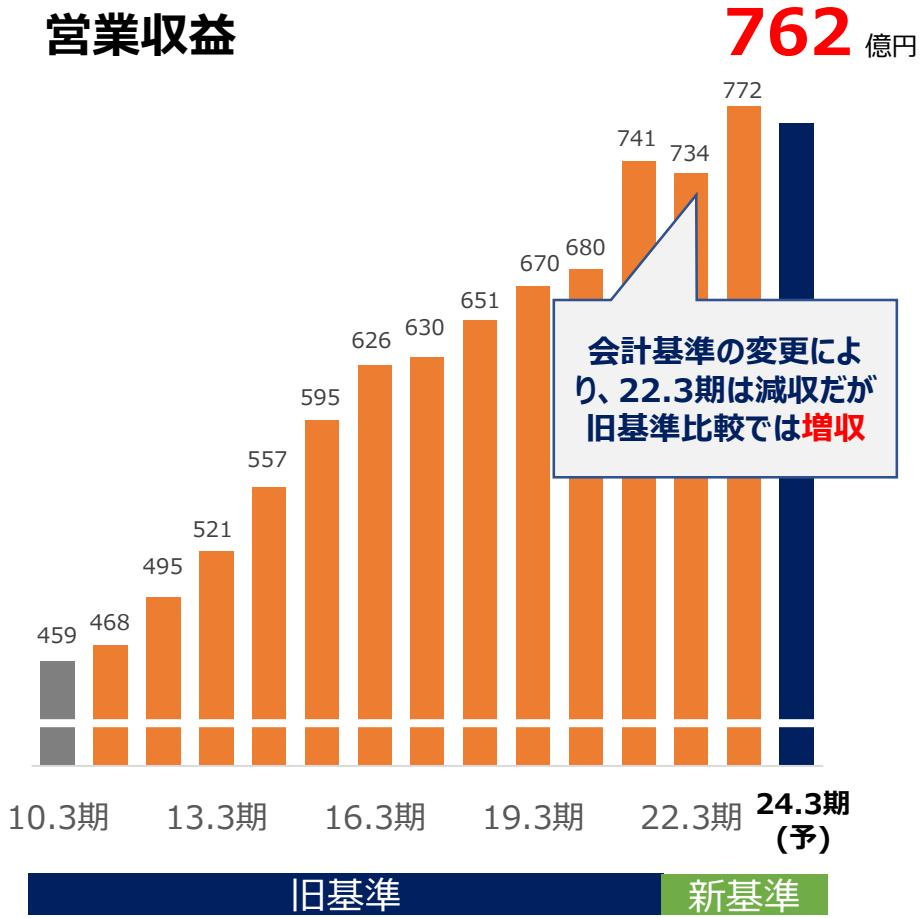
増収・増益・連続増配

経営目標	3増（サンゾウ）
	＋
配当性向	40%超

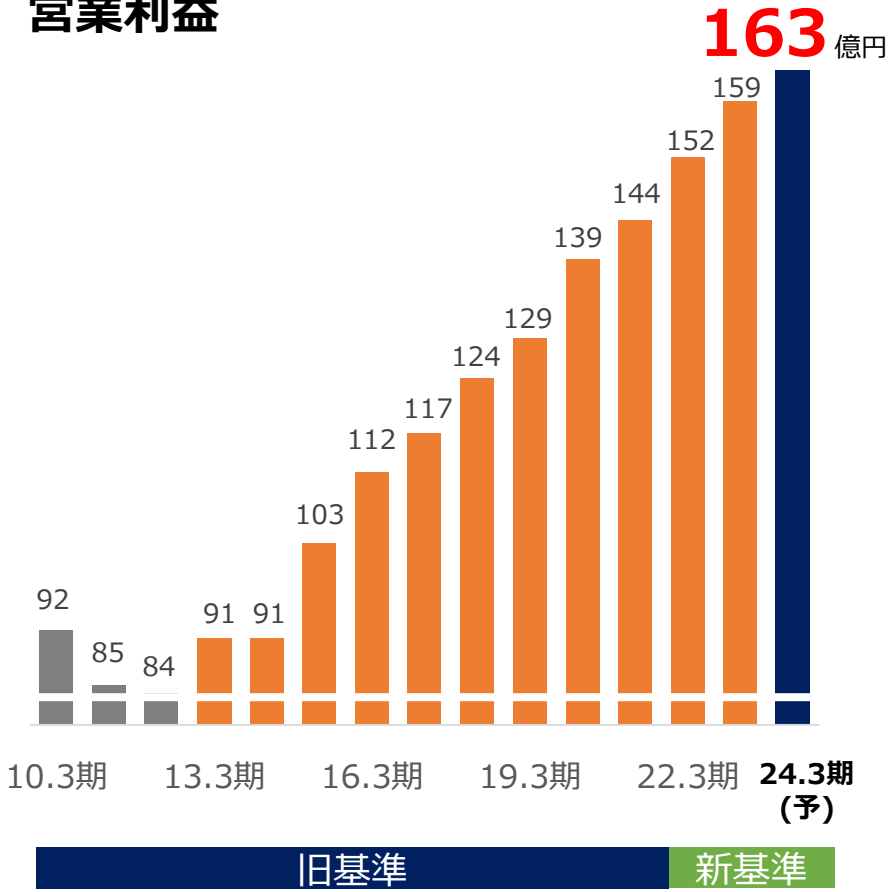
業績推移

12期連続の増益を予定

営業収益



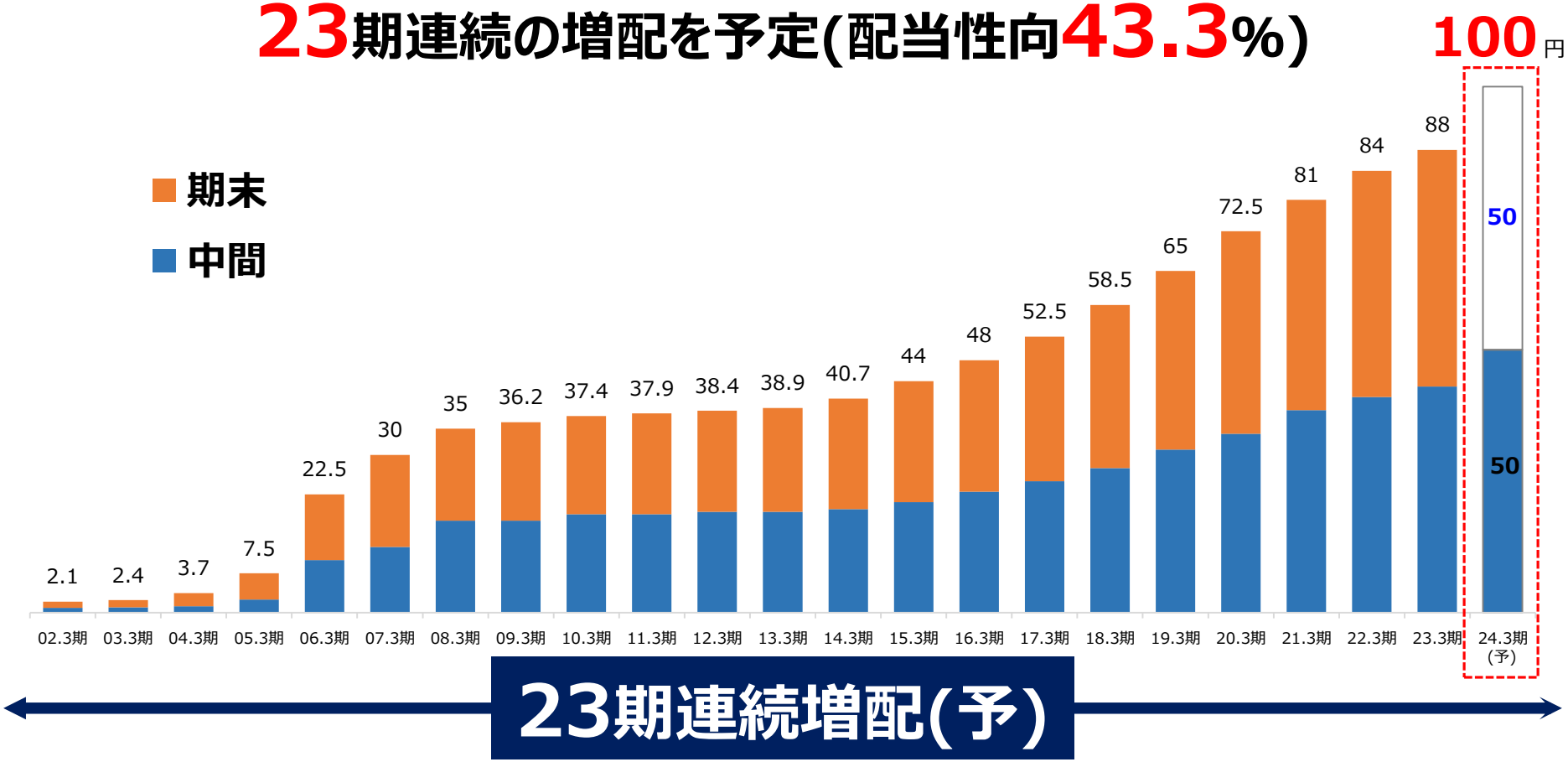
営業利益



一株あたりの配当金の状況

24.3期は通期配当予想100円

23期連続の増配を予定(配当性向43.3%)



※ 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施しております。

※ 2012年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき100株の割合で株式分割しております。

※ 2022年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき2株の割合で株式分割しております。

※ １株当たりの配当金は23年3月期の中間配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

※ 配当性向については、通期配当金100円を24.3期上期公表の1株当たりの当期純利益230.82円で割った数値で算出しております。

1	沖縄セルラーとは
2	**中期経営計画(22年度-24年度)**
3	株主還元

事業戦略

通信を核とした両利きの経営

既存事業の深化

深化を支える
５Gネットワーク戦略

５G戦略とマルチブランド推進
による収益最大化

成長領域の拡大

エネルギー事業の推進

ソリューション事業の推進

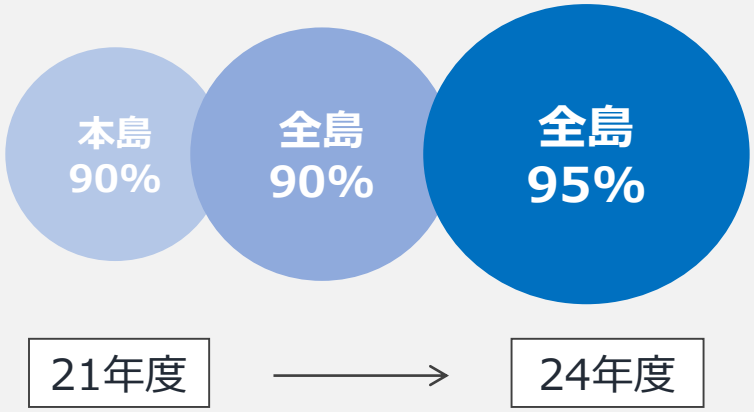
事業創造による
沖縄の社会課題解決

深化を支える5Gネットワーク戦略

■中期経営計画

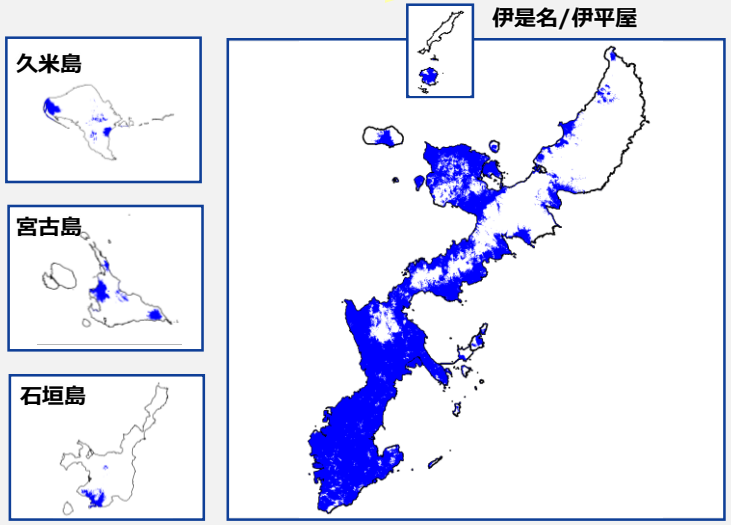
24年度に人口カバー率95%以上

沖縄県内の5Gエリア拡大
デジタル田園都市国家構想に寄与



■足元の状況

2023年9月
計画1年半前倒しで
目標達成



離島含めた全島人口カバー率 95%

深化を支える5Gネットワーク戦略

■中期経営計画

離島海底ケーブル敷設
ネットワーク強化と沖縄全域での
5G拡大を実現

■足元の状況

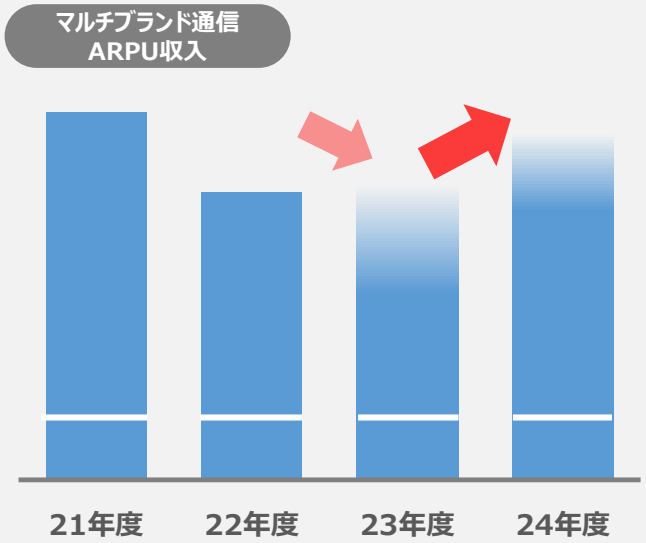
2023年7月
離島海底ケーブル
運用開始

※沖縄セルラー電話株式会社、西日本電信電話株式会社
ソフトバンク株式会社との共同事業

収益最大化

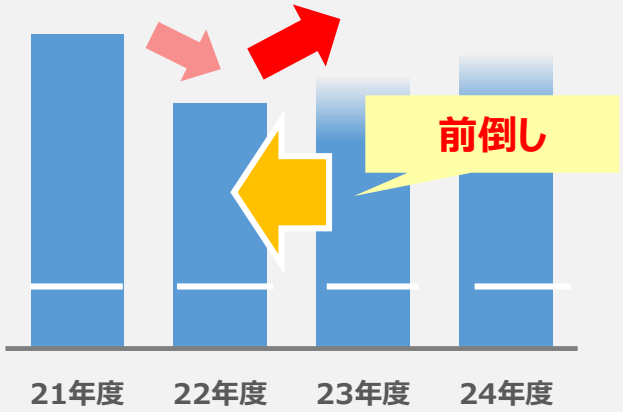
■中期経営計画

マルチブランド通信ARPU収入
23年度底打ち反転



■足元の状況

1年度前倒しで
22年度底打ち反転へ

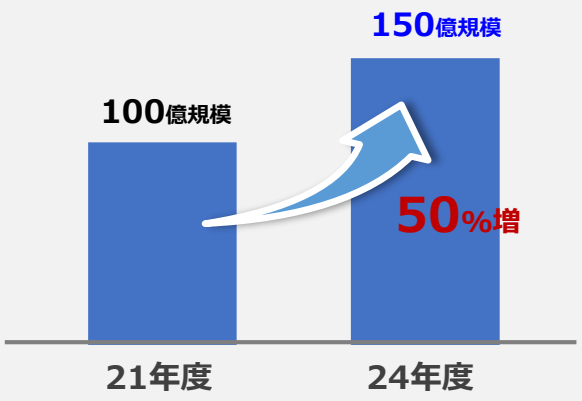


（補足）ARPU（Average Revenue Per User）＝一人当たりの平均利用額

成長領域の拡大

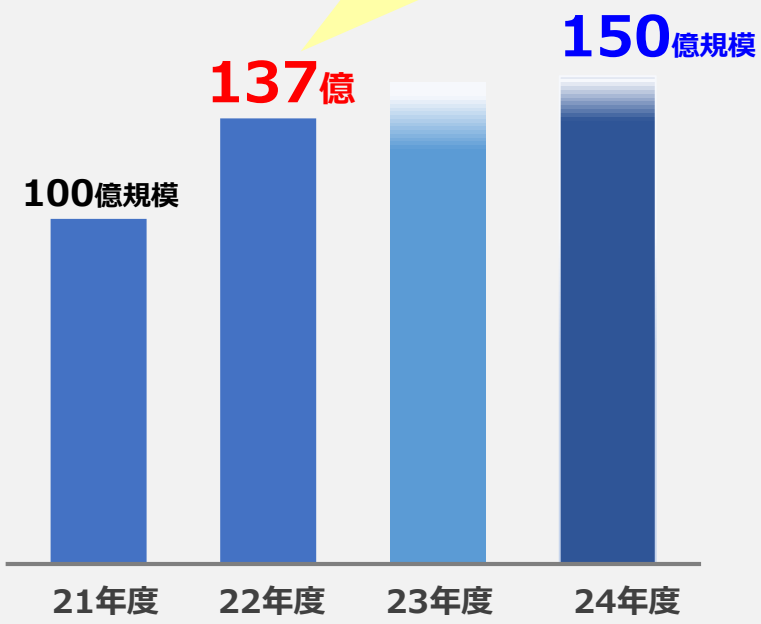
■中期経営計画

成長領域の売上
150億円規模を目指す



■足元の状況

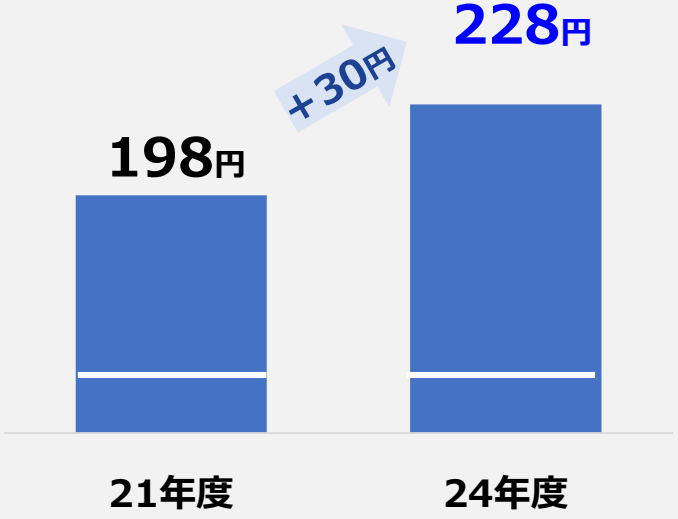
計画に対し順調に拡大



財務目標

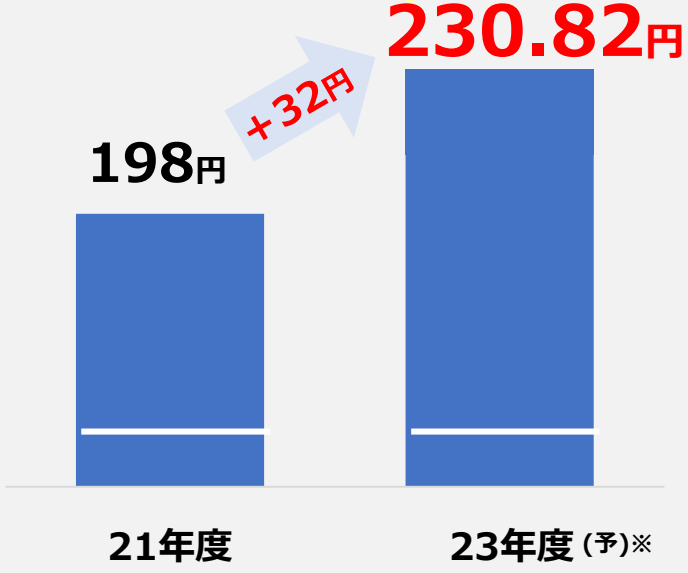
■中期経営計画

24年度EPS228円
（21年度比+15%）を目指す



■足元の状況

前倒しで目標達成



（補足）EPS（Earning Per Share）＝1株あたりの純利益

※23年9月末時点での見込み

キャピタルアロケーション

5G構築等の設備投資・成長に向けた戦略投資を着実に実行

営業キャッシュフロー(22年度～24年度累計500億規模)

CF創出

CF創出

５Ｇなど設備投資

22年度-24年度累計

200億規模

成長に向けた戦略投資

増配、機動的な自己株式取得実施による株主還元

1	沖縄セルラーとは
2	中期経営計画(22年度-24年度)
3	**株主還元**

自己株式取得

■自己株式取得の実施状況

	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期
自己株式取得① 2020/5/18～ 2021/4/23	20億円				
自己株式取得② 2022/5/10～ 2023/4/21			40億円		
自己株式取得③ （公開買付） 2023/4/28～ 2023/5/30				83.7 億円	
自己株式取得④ 2023/8/1～ 2024/4/19				30億円	取得中
合計	173.7億円				

配当金

中間決算にて通期配当予想を上方修正
90円→100円(＋10円　11.1%増)

	期初予想	修正予想	増　減
中間配当	45円	50円	＋5円
期末配当	45円	50円	＋5円
通 期	90円	100円	＋10円

配当性向※

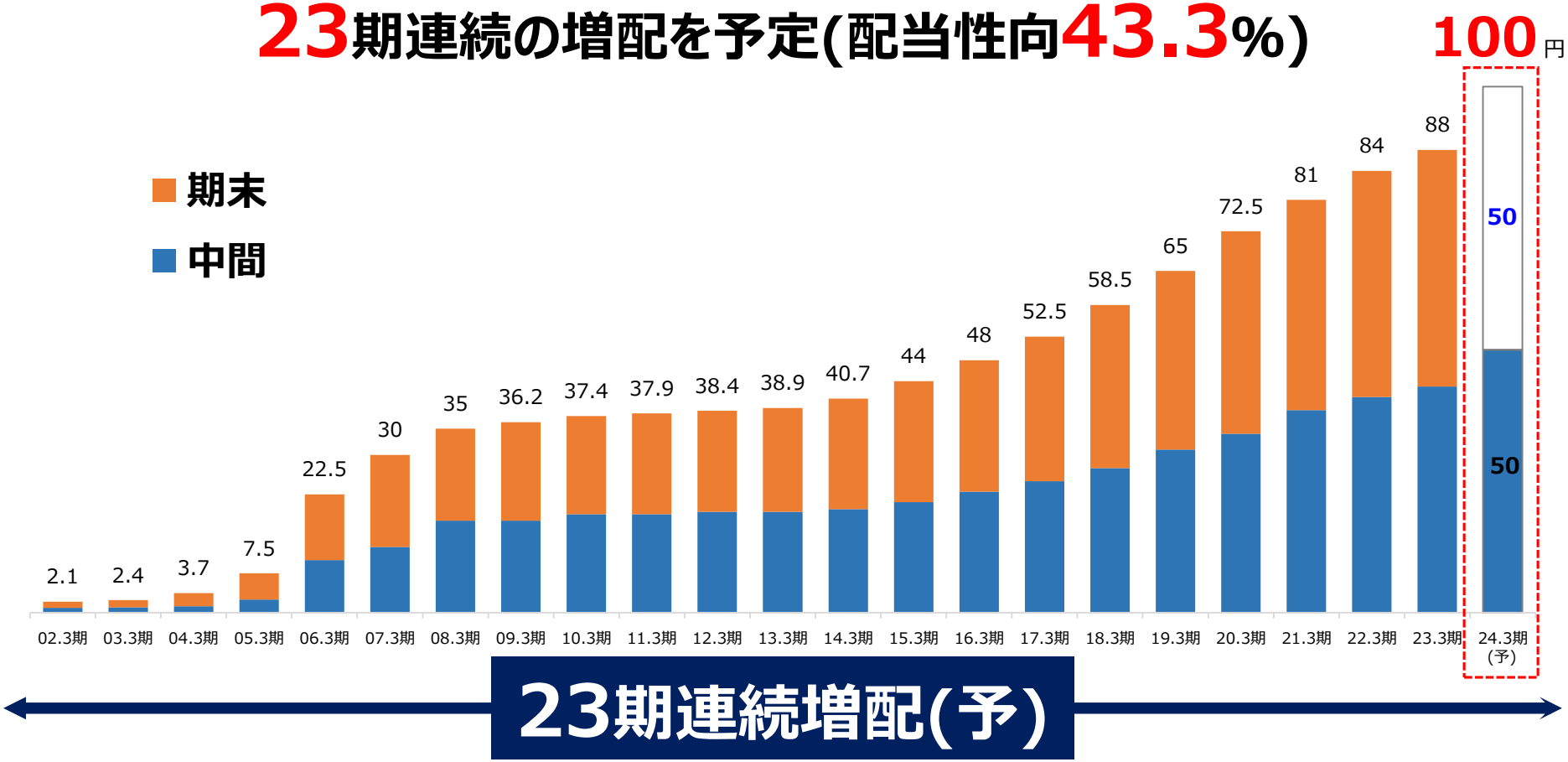
43.3%

※修正後配当金100円を
２Q公表の1株当たりの
当期純利益230.82円で割った数値

一株あたりの配当金の状況

24.3期は通期配当予想100円

23期連続の増配を予定(配当性向43.3%)



23期連続増配(予)

※ 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施しております。

※ 2012年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき100株の割合で株式分割しております。

※ 2022年10月１日を効力発生日として普通株式１株につき2株の割合で株式分割しております。

※ １株当たりの配当金は23年3月期の中間配当金を100として、これまでに実施した株式分割等に伴う希薄化を調整して表示しております。

※ 配当性向については、通期配当金100円を24.3期上期公表の1株当たりの当期純利益230.82円で割った数値で算出しております。

株主優待

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに
当社の事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として実施

基準月	3月

株主優待の内容

株主さまの「保有株式数」と
「保有期間」に応じて
「株主優待カタログギフト」を贈呈

■保有株式数：100～999株

保有期間：5年未満	保有期間：5年以上
3,000円相当	5,000円相当

■保有株式数：1,000株以上

保有期間：5年未満	保有期間：5年以上
5,000円相当	10,000円相当

石垣牛KINJOBEEF＆石垣島アグー豚セット

フルーツマルシェ ～完熟パイン～

※2023年実績

まとめ

✓健全な財務　契約数も好調

- 自己資本比率：82.6%
- シェア：モバイル約5割 FTTH約3割

✓中期経営計画は前倒しで進捗

- 通信ARPU収入：23年度底打反転目標を1期前倒しで進行中
- EPS成長：21年度比+15%（198円→228円）目標達成
  ＋15%以上と更なる向上を目指す

✓増配・機動的な自己株式取得による株主還元

- 増収・増益・連続増配、配当性向40%超を目指す
- 機動的な自己株式取得

※数値は23年3月末時点

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

お問合わせ先
沖縄セルラー電話株式会社
サステナビリティ経営推進部
サステナビリティ経営推進グループ

ＴＥＬ：098-951-0639
E-mail：oct-ir@au-mobile.com

●この配布資料に記載されている業績予想及び契約数予想等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

●本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。